

令和8年1月27日

調査統計課

直通：092-643-3186

内線：2771

担当：光岡・窪山

福岡市・北九州市の消費者物価指数（令和7年平均）

総合指数は、令和2年を100として

福岡市は 112.0 （前年比3.5%上昇）

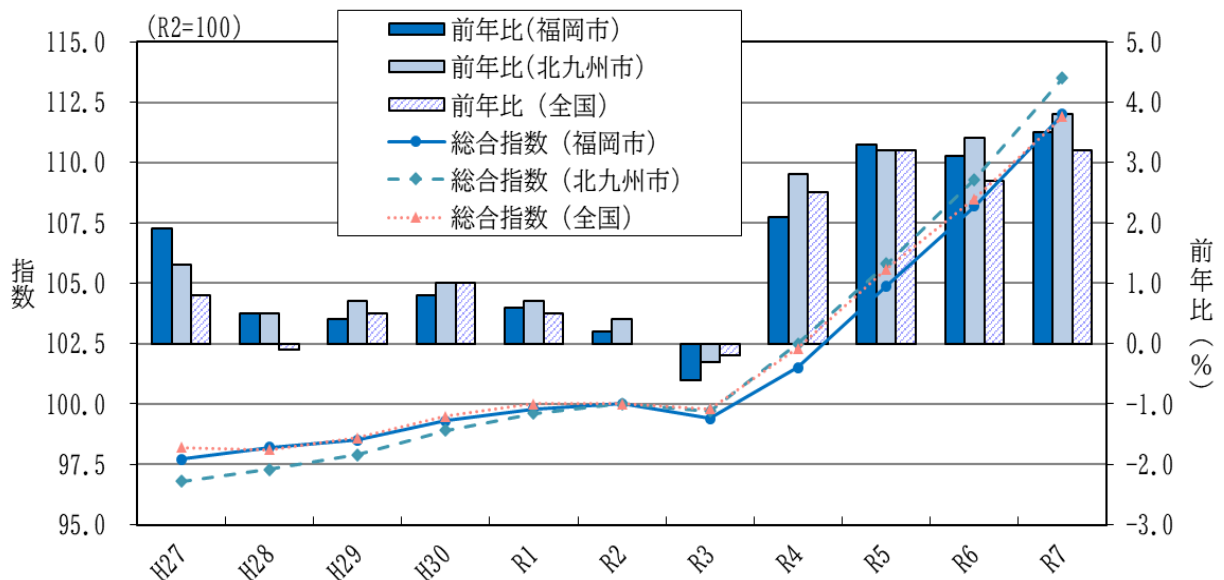
北九州市は 113.5 （前年比3.8%上昇）

※ 消費者物価指数とは、世帯が購入する財やサービスの価格の変動を総合的に示したものであり、基準年（令和2年）の物価を100として算出される。都市別の指数は、それぞれの市における変動を示すものであり、都市間の物価を比較するものではない。

1 令和7年平均消費者物価指数の概況

総合指数は、令和2年を100として福岡市は112.0で前年比3.5%の上昇、北九州市は113.5で前年比3.8%の上昇となった。全国は111.9で前年比3.2%の上昇となった。

図1 消費者物価指数の年別推移



消費者物価指数（福岡市・北九州市）の詳細は、「福岡県オープンデータサイト」で公開しています。

https://data.bodik.jp/dataset/400009_shouhishabukka-fukuoka-kitakyushu_2

表1 変動に寄与した項目（中分類）

	上昇項目			下落項目				
	主な項目		寄与度※	前年比（%）	主な項目		寄与度※	前年比（%）
福岡市	1	穀類	0.55	23.1	1	授業料等	-0.11	-4.6
	2	自動車等関係費	0.30	3.0	2	教養娯楽用耐久財	-0.01	-0.9
	3	調理食品	0.29	8.2	3	他の被服	-0.01	-5.0
北九州市	1	穀類	0.72	26.0	1	授業料等	-0.16	-10.1
	2	調理食品	0.34	8.2	2	家賃	-0.05	-0.3
	3	菓子類	0.29	10.0	3	寝具類	-0.02	-6.9

※ ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度影響を与えたかを示したものの。また、各寄与度は、総合指数の前年比に対するもの。

2 月別の動向

月別の総合指数をみると、（全国）・福岡市・北九州市とも年間を通じて前年を上回っており、物価の上昇が続いている。

図2 消費者物価指数の月別推移

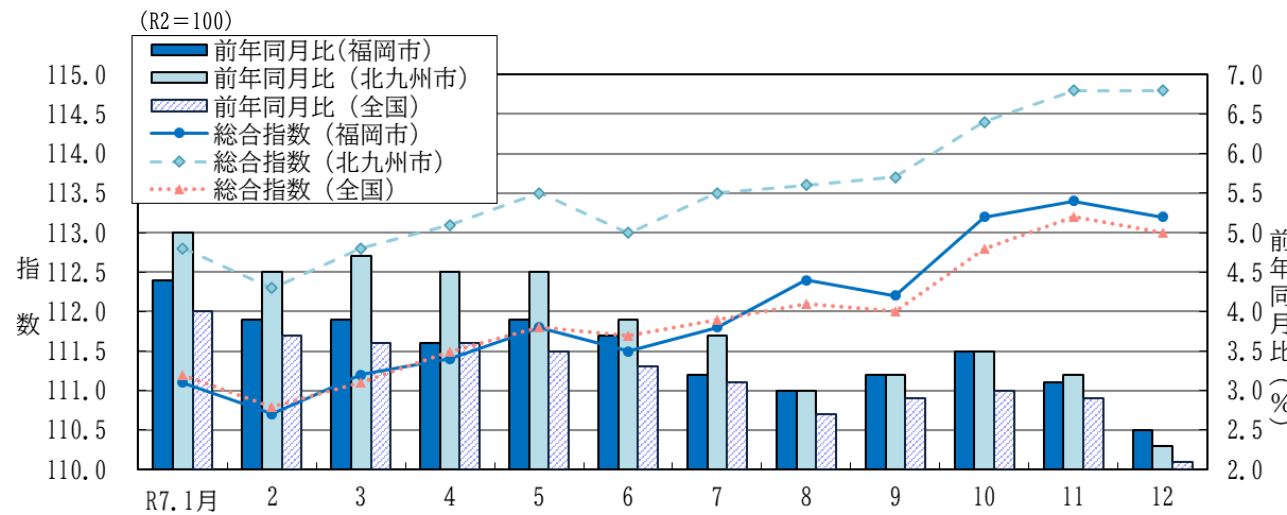


表2 令和7年消費者物価指数及び前年同月比

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福岡市	総 合 指 数	111.1	110.7	111.2	111.4	111.8	111.5	111.8	112.4	112.2	113.2	113.4	113.2
	前年同月比(%)	4.4	3.9	3.9	3.6	3.9	3.7	3.2	3.0	3.2	3.5	3.1	2.5
北九州市	総 合 指 数	112.8	112.3	112.8	113.1	113.5	113.0	113.5	113.6	113.7	114.4	114.8	114.8
	前年同月比(%)	5.0	4.5	4.7	4.5	4.5	3.9	3.7	3.0	3.2	3.5	3.2	2.3
全国	総 合 指 数	111.2	110.8	111.1	111.5	111.8	111.7	111.9	112.1	112.0	112.8	113.2	113.0
	前年同月比(%)	4.0	3.7	3.6	3.6	3.5	3.3	3.1	2.7	2.9	3.0	2.9	2.1

3 10大費目別の動向

各費目の前年比のうち、「食料」が福岡市・北九州市とも大きく上昇している。これは、原材料費や物流費の高騰が続いていることに加え、前年夏以降の米の値上がりの影響が大きいと思われる。

一方で、「教育」については、福岡市・北九州市ともに低下しており、高校授業料無償化の動き等が影響していると思われる。

図3 10大費目別の前年比

